

令和5年度 第1回 辻堂まちづくり会議 次第

日 時 : 2023年4月27日(木) 13:30~15:30

会 場 : 辻堂市民センター ホール

第一部 委員と市長との意見交換

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 委員から自己紹介
- 5 市長から施政方針について
- 6 意見交換
- 7 市民自治部、地域共生社会推進室から
- 8 閉 会

- . . 休 憩 - . .

第二部 全体会議

◎ 委員の変更について

- 1 前回会議議事録の確認について

2 議 題

(1) 部会等報告について

ア 暮らし安心・安全部会 (4/13)

イ 辻堂交流部会 (4/13)

ウ 福祉部会 (4/20)

エ 広報委員会 (4/20)

3 その他

4 今後の予定

●駅前掲示板 5月1日(月) 福祉部会2人

●辻堂朝市 5月11日、25日(木) 福祉部会3人

○暮らし安心・安全部会 5月11日(木) 13時30分から

○辻堂交流部会 5月11日(木) 10時00分から

○広報委員会 5月18日(木) 9時30分から

○福祉部会 5月18日(木) 13時30分から

○第2回辻堂まちづくり会議 5月25日(木) 13時30分から

(二部構成)

以 上

日時	2023年3月23日(木) 13:30~15:55		
場所	辻堂市民センター ホール		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 齋間委員 <input type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input type="checkbox"/> 赤塚委員 <input type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input checked="" type="checkbox"/> 北野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input checked="" type="checkbox"/> 中野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 富田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴田委員
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 加藤センター長 <input checked="" type="checkbox"/> 新倉	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 片山	<input checked="" type="checkbox"/> 山出 <input checked="" type="checkbox"/> 守谷 <input checked="" type="checkbox"/> 若山
議題等	第一部 ・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(中間報告)(市道路河川総務課) 第二部 1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 部会等報告について 暮らし安心・安全部会(3/9)、辻堂交流部会(3/9)、福祉部会(3/16) 広報委員会(3/16) (2) ディスカッション 令和5年度事業計画について、オンライン会議について 3 その他 4 今後の予定		
資料	①令和4年度第12回辻堂まちづくり会議次第等 ②各部会等の事業予定表(案) ③藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について ④辻堂さんぼチラシ(案) ⑤辻堂まちづくり会議だより		
傍聴者	1人		

【議事録】

(進行 中丸主幹)

○開会前確認

- (1) 会議の成立に関する報告
- (2) 資料の確認

- (3) 会議進行の確認
- (4) 傍聴の取扱いについて

(進行 尾崎会長)

第一部

藤沢厚木線（辻堂工区）の整備について(中間報告)

- ・市道路河川総務課から説明を行った。

神奈川県策定『改定・かながわのみちづくり計画』の位置付けをランクアップしたいと考えており、令和4年度5回にわたって暮らし安心・安全部会において説明しご意見をいただいていた。令和5年度には説明会やアンケートの内容などについて、引き続き暮らし安心・安全部会においてご意見をお聞きしながら実施して行きたい。皆様からいただいたご意見をとりまとめ、神奈川県に要望していききたい。

【質疑応答】

- ・藤沢厚木線の計画はいつ、どういう経緯で持ち上がったのか。(吉田秀委員)
→藤沢厚木線は藤沢市が都市計画決定した都市計画道路の一つで、昭和32年に決定した。(市道路河川総務課)
- ・SSTに道路用地として確保されていてソニーの方につながる道路と藤沢厚木線の2本作る予定なのか。(吉田秀委員)
→市の計画としては2本作る予定として考えている。SSTからソニーの方への道路(仮称)南北線は、都市計画決定はされていないが計画道路となっている。2本の道路の目的が分かれている。藤沢厚木線は現在供用開始されている城南から北に向かって秋葉台公園の横を抜け綾瀬を越えて厚木まで伸びる大きな道路で、県の道路として整備していただく計画となっている。一方、南北線は地区と地区を結んで線路を越える、限られたエリアの中で移動するための道路で、藤沢市が進めていく。長く移動する道路と、近くの地区間を移動する道路に分けて整備を進めている。(市道路河川総務課)
- ・横浜から城南までの道路工事が長い間行われているが、完成はいつ頃になるのか。藤沢厚木線に他の道路とも繋がってくると思うが、優先順位をあげる、本腰を入れるためにはどうしたらいいかを考えないといけない。(吉田紀委員)
→国土交通省が進めている事業で、1号線の下にトンネルを掘っている。開通時期は、当初、令和6年度と発表されていたが、昨年夏に延期が発表され、時期は示されていないが、数年伸びる状況。藤沢厚木線延伸については、横浜湘南道路ができると横浜側から、既に圏央道はできていて八王子、さらには埼玉の方から多くの車が来ることが想像できるので、その開通時期と併せて進めていただきたいと要望していくことになろうかと考えている。地域の方に説明をしっかりとしながら、要望の必要性についてお伝えしていききたいと考えている。(市道路河川総務課)
- ・藤沢厚木線は線路の下を通すのか上を通すのか、どんな道路を想定しているのか。(伊

藤副会長)

→現時点では決まっていない。ランクアップして事業化整備の検討に入るときに具体的な検討が進められると考えている。(市道路河川総務課)

- ・この道路は、辻堂を利用する人が通るのではなくスループラスとして通過するだけ。住民に何を求めているのかよくわからない。防災の観点や経済の観点からこう考えていくというような説明をしていただきたい。100年200年先にできる道路のことを今の段階で聞いていただいても、それが200年先のニーズに合っているかわからない。それより今混んでいる状況を少しでも改善していくことを示すような都市計画について聞いてほしい。(吉田秀委員)

→今いただいたようなご意見は、我々も肌で感じた方がいいと思っているので、大いにいただきたいと思っている。100年200年先というのは極端すぎるが、10年20年もう少し先までの道路の計画を考えたらうで、必要性を検討しているので、説明会ではもう少し詳しく説明できるようにしたいと思う。(市道路河川総務課)

1 前回会議議事録の確認について

- ・オンライン会議については議題(2)でご意見をお聞きする。(尾崎会長)

2 議題

(1) 部会等報告について

- ・くらし安心・安全部会(3/9)

→山田部会長から資料のとおり説明があった。

【意見等】

- ・通報システムのチラシがわかりやすい。(伊藤副会長)
- ・自転車マナーアップ研修会に参加したい。(伊藤副会長)
- 参加希望者の確認をした。(事務局)

- ・辻堂交流部会(3/9)

→秋山部会長から資料のとおり説明があった。

4月4日(火)9時～ 辻堂ストリートギャラリープロジェクト掲出作業の参加を依頼した。

参加者(交流部会以外):秋葉委員、鷹野委員、松尾委員、富田委員、池本部会長

【意見等】

- ・特になし

- ・福祉部会(3/16)

→池本部会長から資料のとおり説明があった。

【意見等】

- ・ AEDを使った救急救命講習に参加した。心肺蘇生法が大事で、あばら骨が折れるくらい力を入れないと効果がないらしい。実際にAEDを使いこなせるかはわからないが、講習を受けてよかった。(吉田紀委員)
- ・ 私は救急救命の講師をしていますが、AEDマップのアプリを入れさせてもらってすごく良かった、感謝している。ぜひ皆さんにも教えていただきたい。(千葉委員)
- ・ 辻堂地区全体で住民がどのくらいの頻度でそのような講習を受けられるのか、辻堂全体を考えた戦略を、まちづくり会議としては考えることが必要なのではないかと思う。1実施団体に成り下がってはいけないと思う。(小川副会長)
→補足ですが、小川副会長の言うとおりの実施団体になってはいけないということで、福祉部会では来年度AEDの活用については実施しません。なぜ開催したかということ、2019年からコロナにより救急救命講習の回数が非常に減ったとのことで、まちづくり会議福祉部会で何かできないかと、救急救命講習会とAEDマップ活用を行った。しかし、アフターコロナの時代に入り、来年度からは消防で救急救命講習会も開催されたり自主防災組織や地域での活動も盛んになるだろうということで、この事業については他団体をお願いをして、まちづくり会議では開催しないという方向付けになった。AEDマップアプリについては、私たちが友達に広めていくような形で広めていけたらいいと思っている。(伊藤副会長)
- ・ 広報委員会 (3/16)
→久保田委員長から資料のとおり説明があった。

【意見等】

- ・ 「辻堂まちづくり会議だより」の裏面の委員一覧について、従前は組織代表が最初に並んでいたが、今回は公募委員を最初に置いた。この趣旨は、組織代表はあて職みいたいなどころもあるが、公募の方は自ら手を挙げてお見えになっているので、そちらを最初に置くべきと、広報委員会の中で議論をして変更した。(小川副会長)

(2) ディスカッション

- ・ 4班に分かれ、意見交換等を行った。

班	構成員
1班	尾崎会長、鷹野委員、近藤委員、鶴田委員
2班	伊藤副会長、山田委員、久保田委員、吉田紀委員、千葉委員、富田委員、山下委員
3班	小川副会長、秋葉委員、片桐委員、松尾委員、池本委員、堀川委員
4班	秋山副会長、齋間委員、中野委員、高野委員、北野委員、吉田秀委員

- ・ 令和5年度事業計画について
各部会等の事業予定表を見て、事業等について意見交換を行った。

【意見等】

- ・(3班) 5つの提案ができた。①AEDや避難所マップなどはくらし安心・安全部会でやるべきではないか。スマホによる避難所案内ソフトもあるとよい。障がい者の避難訓練はやったことがないが、これらもくらし安心・安全部会で。事業によっては部会に分けなくてもよいのでは。②美化キャンペーンは同じ場所だけでなく、ほかに問題のあるところはないのか。特に東の方でもっとあるのではないか。③公民館が西側に移転したので、東側の方と人的な交流が難しい。東西の交流なども必要ではないか。④防犯カメラの整備状況や現状などの調査もあっていいのでは。⑤朝市について、季節感があまりなく、いつも同じようなもののように感じる。(小川副会長)
- ・(1班) 4つの部会等についてそれぞれの意見は各委員が持ち帰り部会でフィードバックする。全体に係る意見として、駅前掲示板は現状辻堂まちづくり会議という名前だけが目立っている。例えば、辻堂さんぽや公民館まつりなど、まちづくり会議そのものに興味がない方でも「なんだろう」と思ってもらえるような事業を前面に出す形、言ってみればポスターみたいな形で使っていくことで、結果的にまちづくり会議が主催しているというような周知の仕方もあるのではないか。交流部会は一般の人を巻き込みながら交流する目的の部会なので、まさしく交流部会がやっている事業についてこの使い方もよく考えてみた方がよいとのご意見があった。(鶴田委員)
- ・(4班) くらし安心・安全部会に子どもの見守り事業があるが、昨今いろいろな事件が増えている中で、防犯、子どもの見守りについて具体的な検討を進めたらいいのでは。福祉部会は、いろいろな協議会や部会を巻き込みながら辻堂地区全体に福祉の理解が広がっていくとよい。交流部会は、辻堂さんぽのようなものをきっかけに、さまざまな方が辻堂の中で交流しながらバリアを取っていくようなことを意識しながら広げたい。各部会員が各部会に持ち帰る。(北野委員)
- ・(2班) くらし安心・安全部会については、藤沢厚木線の整備について、計画ありきの事業はいかがなものか、それなら見直しの提言などをまちづくり会議で考えてもいいのでは。それより私たち辻堂の人たちが最も大切なのは南北線ではないか。交流部会は素晴らしい活動をしていると思うが、事業が多く、いつまでもそのまま継続していくのか。次の団体に発展させてもらって、別の取組をしていく下地を作っていくのか。事業が増えるだけでスクラップアンドビルドができない。そこを意識しながら事業展開をしていかないといけない。あとはそれぞれの部会に持ち帰る。(伊藤副会長)

○オンライン会議について

まちづくり会議をオンライン開催することについて意見を出し合った。

【市の考え方】

- ・3月13日以降は基本的に来所される方のマスク着用は個人の判断でお願いしている。市職員については、まだ抵抗を感じる市民もいるので、当面の間マスクをして市民対応をする。5月8日まではマスク以外のところは今の状況を継続していく。5月8日にコロナの感染症法上の分類が2類相当から、5類相当とって季節性インフルエン

ザなどと同じランクに替わる。これに向けてその頃の状況を踏まえて新たに判断していくことになる。(加藤センター長)

【意見等】

- ・(1班) ハイブリッドで開催してはどうか。現役で仕事をされている方や現場を持っている方は途中から参加できるなど、参加率が上がるのではないか。(尾崎会長)
- ・(2班) ハイブリッド。まちづくり会議を知ってもらいたいという話があり、ハイブリッド開催の話になり、オンラインで開催したら傍聴者も増やしていく、そのようなことができたらいいとの話をした。(伊藤副会長)
- ・(4班) オンラインに頼らず集まって話をすれば、顔が見えるし一緒に話もできる。確かに機械を使うこともいいが、たくさんの顔が画面に出て恥ずかしくてなかなか自分の意見が言えないといった意見が出た。オンラインより会議のやり方、時間帯などを考えた方がよいのではないか。(秋山副会長)
- ・(3班) 10人くらいでオンライン会議をやっている経験者は、とても時間がかかるので無理ではないかとの意見だった。時期に逆行しているのではないか。3班では基本的にオンラインは反対。(堀川委員)

3 その他

(1) はじめてのスマホ講座～i P h o n e編～(報告)

- ・事務局から次第にあるとおりの報告をした。

(2) 八松小3年生八松ウォークラリー実施結果報告

- ・秋山副会長から次第にあるとおりの報告をした。

(3) その他

- ・北野委員が今回で退任することになり、挨拶をした。
- ・事務局職員の人事異動の内示があり、異動する職員が挨拶をした。

4 今後の予定

駅前掲示板作業	4月 3日(月)	辻堂交流部会 2人
辻堂朝市	4月27日(木)	くらし安心・安全部会 3人
辻堂交流部会	4月13日(木)	10時00分～
くらし安心・安全部会	4月13日(木)	13時30分～
広報委員会	4月20日(木)	9時30分～
福祉部会	4月20日(木)	13時30分～
第1回辻堂まちづくり会議	4月27日(木)	13時30分～15時30分

※第1部委員と市長との意見交換 第2部定例会

以上

令和5年度 第1回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)4月13日(木) 13:30~15:30

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 赤塚委員、山田委員、齋間委員、小川委員、秋葉委員、鷹野委員

(事務局) 中丸、新倉、宮木

- (議題等)
- 1 自転車マナーアップ研修会実施結果について
 - 2 湘南工科大学「社会貢献活動」実習生の受け入れについて
 - 3 第47回ゴミゼロキャンペーン&津波避難体験について
 - 4 令和5年度くらし安心安全部会事業計画について
 - 5 その他

1 自転車マナーアップ研修会実施結果について

- ・事務局より資料に沿って説明。質問については、警察に提供し回答をお願いする。

(意見等)

- ・質問者に回答できるのはいつになるのか。
→まちづくり会議には、6月以降の全体会議。交対協には推進会議でお示しできると思う。
- ・研修会で前もって質問ができないといわれたのか。
→そのとおり。
- ・講師の問題でできなかったのか。
→質問が出た場合、実際にその場所の交通規制等の状況を確認しないと正しい判断ができないことから質疑については受け付けることができないと報告があった。
- ・質問を受けておいて、後日回答する形にすれば良いのではないか。
- ・今回出た質問は次回生かしていく必要がある。みんな不満を持っていた。中途半端だった。
- ・今後研修会を行う予定はあるか。
→現時点では考えていない。
- ・今回のことをふまえ、今後のことについて、今年度の中で考えていきたい。
- ・DVDの貸し出しについて警察にもっとプッシュしてほしい。自治会等でみると良い勉強になる。

2 湘南工科大学「社会貢献活動」実習生の受け入れについて

- ・事務局より資料に沿って説明。
次回、プログラムの詳細をお示しする。

(意見等)

- ・団体情報は、誰が誰に出す情報か。
→学校が学生に向けて出す情報である。
- ・防災協議会、青少年会館でプログラムは作成できている。くらし安心・安全部会の事業計画に社会貢献活動とチームレスキューが位置付けられている。また、社会貢献活動のプログラムの中にもチームレスキューのプログラムも入れているところであることから、部会員は、一人1回でいいのでプログラムに参加して、防災に関して子どもとともに体験していただきたい。

3 第47回ゴミゼロキャンペーン&津波避難体験について

- ・事務局より資料に沿って説明。当日12名の方にお手伝いを依頼したい。
→秋葉委員（東）赤塚委員（西）がお手伝いしていただけることになった。
残りは、全体会議で依頼する。
- ・横断旗はいつ渡してもらえるか。
→キャンペーン中にお渡しする予定ではあるが、改めて5月の部会でお伝えしたい。

4 令和5年度くらし安心安全部会事業計画について

(意見等)

- ・くらし安心・安全部会が関与するレベルで分ける表示をしてはどうか。
- ・要支援者対策は支援に修正することに決定した。
- ・辻堂地区交通問題事業に、「海浜公園通り信号機設置について」「昭和通りの歩道について」を記載する。

5 その他

- ・事務局より4月全体会議の前半に市長との意見交換を行う。その際の自己紹介は団体名と名前だけでお願いしたい。

以上

【次回部会日程】

日時：2023年(令和5年)5月11日(木)

13時30分～15時

第47回ゴミゼロキャンペーン&津波避難体験



<みんなで守る海> <より高く・より遠くへ>

・ゴミゼロキャンペーン

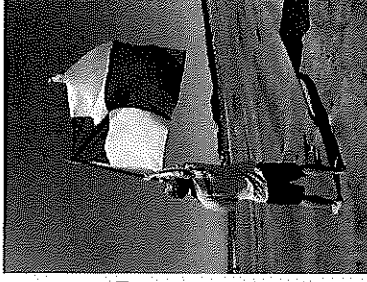
・津波避難体験

9時～9時45分(受付8時50分～)

9時45分～10時35分頃

2023年5月28日(日)開催 ※ 荒天中止

集合受付場所 及び避難経路



このフラッグに集合!!
津波フラッグ (U旗)

詳細は裏面へ

実施内容

<ゴミゼロクリーンキャンペーン>

～辻堂地区生活環境協議会～

時間：9時～（受付8時50分）

持ち物：軍手、タオル、帽子、飲み物等、

ごみ袋2枚

（藤沢市指定収集袋は使わないでください）

会場：辻堂海岸 各受付場所ののぼり旗前

<津波避難体験>

～辻堂地区防災協議会・辻堂まちづくり会議、

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会

日本ライフセービング協会～

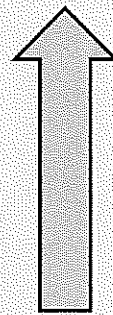
時間：9時45分～10時35分頃

会場：辻堂海岸東側会場～湘南メディカルビル

辻堂海岸西側会場～辻堂市民センター

内容：東西会場ごとに津波避難ビルに向かって避難を体験していただきます。

ゴミゼロクリーン
キャンペーン終了後



※ 避難目標の詳細は表面参照

実施に伴う注意事項

1. 当日、気分のすぐれない方は、参加しないでください。
2. 帽子をかぶりましょう。ケガ防止のため、靴は必ず履いてください。
3. ケガをしたり、気分が悪くなった場合は、各会場受付にいる市職員にお申し出ください。
4. お子様をお連れの方は、迷子にならないよう、十分ご注意ください。
5. 当日は日曜日のため、海岸付近の道路は混雑が予想されます。道路を渡る際は十分ご注意ください。また、お車でのご参加はご遠慮ください。
6. 当日、大きな地震があった場合、津波の危険がありますので、すぐに高いところへ避難してください。
7. 実施確認は、「かながわ海岸美化財団」のHP (<http://www.bikazaidan.or.jp>) または、当日7時30分から辻堂市民センターまで。

スケジュール

- <8時50分> ゴミゼロクリーンキャンペーン受付開始
- <9時00分～9時45分> ゴミゼロクリーンキャンペーン実施
- <9時45分～10時35分頃> 東西会場ごとに津波避難体験を開始
- <10時35分頃> →避難目標に到着後、上階避難を実施
閉会式・解散

【お問い合わせ先】 辻堂市民センター（電話：0466-34-8661）

※ 土日・祝日を除く8時30分から17時00分まで

第47回
ゴミゼロクリーンキャンペーン
&津波避難体験

津波避難体験 実施要領

辻堂地区防災協議会
辻堂まちづくり会議
辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議
会
日本ライフセービング協会

CONSTITUTION

OF THE STATE OF TEXAS

AS AMENDED

1 事業の位置づけ

- ・辻堂地区防災協議会として、地域の防災力向上に寄与するための事業として同事業を共催するとともに、辻堂まちづくり会議及び辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会と連携して企画運営を行う。

2 事業目的

～辻堂地区の防災力向上～

- ・津波を想定した避難経路および避難ビルの再確認。
- ・車椅子を利用することで、通常の避難訓練とは異なる目線から、避難経路上の問題点の抽出を図るとともに、避難経路及び避難にかかる時間の確認。
- ・津波避難に役立つ防災資機材（JINRIKI）の利用方法等の確認と地区内への情報共有。

3 事業主体（共催）

- ・辻堂地区防災協議会
- ・辻堂まちづくり会議
- ・辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
- ・日本ライフセービング協会

4 実施日

2023年（令和5年）5月28日（日） 荒天中止

- ・ゴミゼロキャンペーン：9時00分～ 9時45分（受付：8時50分）
- ・津波避難体験：9時45分～10時35分（解散予定）

※津波避難体験参加者の集合場所：U旗（津波フラッグ）を目印

5 対象

約300名（従事者含む）

※辻堂地区内の住民、第47回ゴミゼロクリーンキャンペーンの参加者を想定

6 対象避難ビル

【東会場】湘南メディカルビル（辻堂東海岸1-12-5）

- ・構造：鉄筋コンクリート造・3階建
- ・屋上避難スペースまでの高さ：約10m GL：5.2m 海拔15.2m
- ・屋上避難収容可能最大人数：309人

【西会場】辻堂市民センター・公民館（辻堂西海岸2-1-17）

- ・構造：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造・3階建
- ・屋上避難スペースまでの高さ：約12.5m GL：8.3m 海拔20.8m
- ・屋上避難収容可能最大人数：626人
（市民センター部分：320人／消防部分：306人）

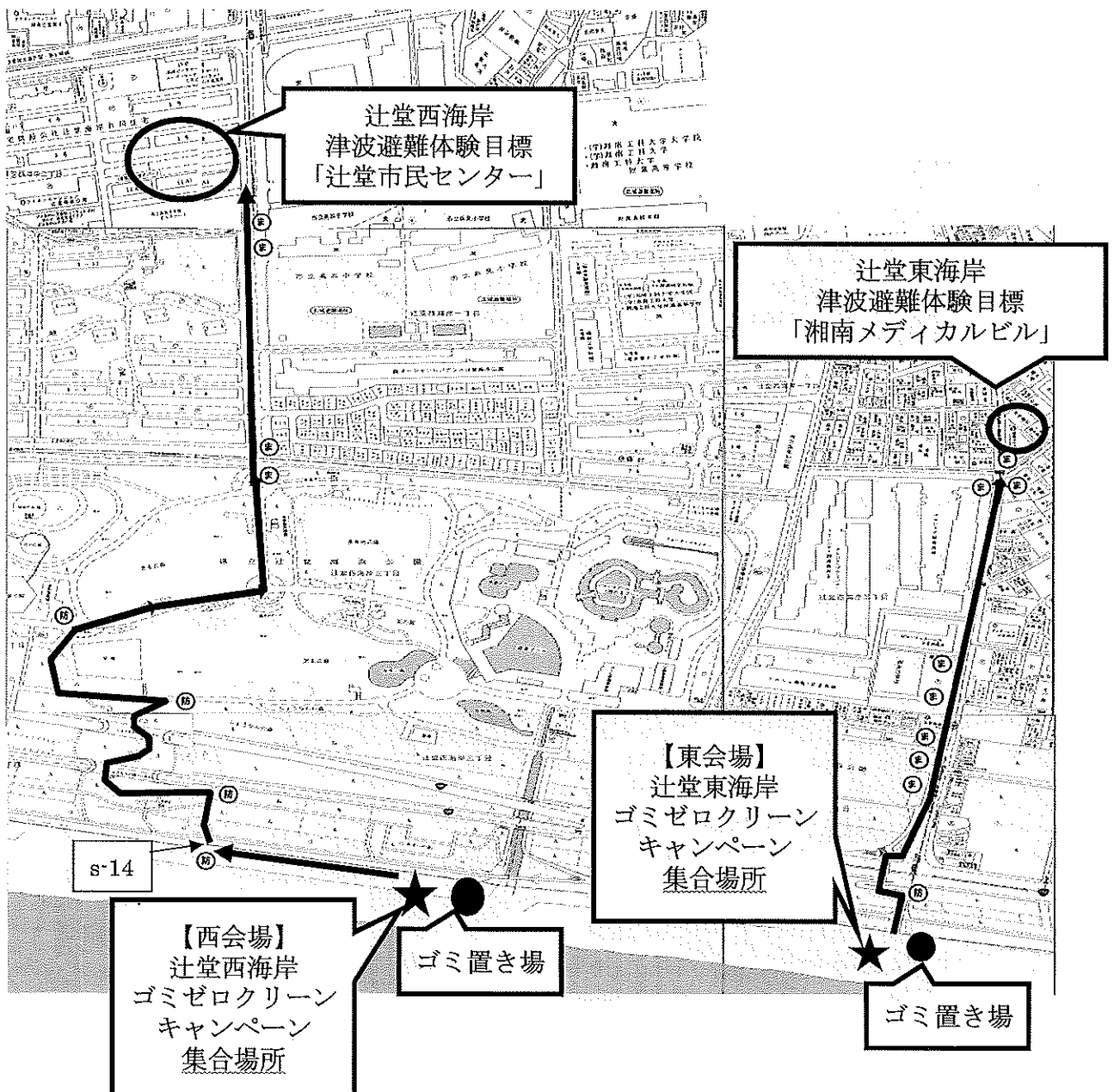
7 周知・広報

- ・5月10日号の広報配布に併せて案内を全戸配布。
- ・辻堂市民センターのHPへ掲載。

8 各団体の役割 (※各団体はベスト、ジャンパー、Tシャツなどを着用)

- ・ 辻堂地区防災協議会
全体統括、参加者の引率、避難経路の安全管理と誘導、
車椅子(JINRIKI 装着)の操作と体験
- ・ 辻堂まちづくり会議
避難経路の安全管理と誘導
- ・ 辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
ゴミゼロクリーンキャンペーン会場での誘導及び案内
- ・ 日本ライフセービング協会
集合場所の表示、引率の表示、車椅子(JINRIKI 装着)操作の補助

9 避難経路図



1.0 津波避難ビル屋上への避難経路

【湘南メディカルビル】

湘南メディカルビル外階段 → 屋上へ → 外階段から下に降りる

※閉会式が2回の場合は、参加者の一部を屋上への入口前の駐輪場で待機

【辻堂市民センター】

辻堂市民センタースロープ → 2階へ → 防災備蓄倉庫の確認 →

3階から屋上へ → 津波避難スペースへ（センター及び消防の屋上スペース） → 消防側の外階段から下に降りる

1.1 各会場の従事内容

団体	辻堂地区防災協議会	辻堂まちづくり会議	自治会長・町内会長 連絡協議会
会場	東会場・西会場	東会場・西会場	東会場・西会場
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・全体統括 ・参加者の引率 ・経路沿いの安全確保と誘導 ・車椅子(JINRIKI 装着)の操作と体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・経路沿いの安全確保と誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自自治会町内会への事前周知、案内 ・ゴミゼロ会場にての周知、案内
担当	<p>【東会場】</p> <p>統括：松木 先頭：吉沢 最後尾：石井正 誘導：田中</p> <p>【西会場】</p> <p>統括：福田 先頭：池野 最後尾：大川 誘導：榎本、櫻井、岩崎 西川 JINRIKI：鎌田・ライフセーバー</p>	<p>【東会場】誘導：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海浜公園の東駐車場の東出入口（2人） ・海浜公園の横断歩道（1人） ・SEIYU 駐車場出入口（2人） <p>【西会場】誘導：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南メディカルビル横の横断歩道（3人） ・海浜公園北側出口の横断歩道（2人） ・市民センター南側の横断歩道（2人） 	/
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・U旗を目印とし、集合を促す。 ・統括は、津波避難体験開始のアナウンス時や避難状況の確認を無線にて、随時連絡を取る。 ・市民センターで車椅子にJINRIKIを装着した後、西会場へ移動する 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・目印となるU旗がある場所に集合を促す

1 2 スケジュール

時 間	内 容	担当 (敬称略)
7時30分	センター職員出勤	センター職員
40分	事務局用意の車椅子2台にJINRIKIを取付け(市民センター) ※鎌田アドバイザー用意の車椅子2台は取付済の状態での搬入	取付け：鎌田 補助：松木・吉沢・福田
8時00分	ライフセーバー到着(市民センター)	
15分	【市民センター → 西会場】 車椅子(JINRIKI 装着)4台を西会場に運搬	鎌田・ライフセーバー 補助：松木・吉沢・福田
30分	ゴミゼロクリーンキャンペーン 受付設置	【東会場】：センター職員 【西会場】：センター職員
45分	・津波避難体験担当者、東西会場それぞれに集合(防災協のぼり旗を目印) ・統括より当日の流れ最終確認 ・東海岸3丁目所有の車椅子(JINRIKI 装着)持参 ・横断歩道の誘導係にセンター職員から横断旗とビブスを渡す。	防災協担当者 まちづくり会議担当者 自治連担当者 3丁目会員
9時00分	・ゴミゼロクリーンキャンペーン開始 ・開会式終盤にて、キャンペーン終了後に津波避難体験開始予定のアナウンスがあること、集合場所にライフセーバーがU旗を掲示することを説明する。	【東会場】：松木 ライフセーバー 【西会場】：福田 ライフセーバー
30分	・津波避難体験開始予定のアナウンス ・集合場所でのライフセーバーによるU旗の掲示(集合場所の目印)	【東会場】：松木 ライフセーバー 【西会場】：福田 ライフセーバー
40分	・誘導係は所定の位置に移動。	【東会場】：防災協4人 まちづくり8人 【西会場】：防災協8人 まちづくり4人
45分	津波避難体験開始 出発前にすること 【東会場】 ・閉会式回数の決定(参加者が屋上の収容人数150人を超えている、または先頭と最後尾が10分以上離れている場合には2回にする) ・レスキューシートの担ぎ手、車椅子に座る人の決定(担ぎ手はライフセーバーと参加者を合わせて4人確保する)	【東会場】 統括：松木 先頭：吉沢(U旗掲出) JINRIKI：3丁目会員 ライフセーバー 最後尾：石井(防災協のぼり掲出) センター職員(移動時間差の把握)

	<p>【西会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉会式回数の決定（参加者が屋上の収容人数300人を超えている、または先頭と最後尾が10分以上離れている場合は2回にする） ・JINRIKIの担ぎ手、車椅子に座る人の決定（担ぎ手もセンター到着までは参加者から募る） 	<p>【西会場】</p> <p>統括：福田 先頭：池野（U旗掲出） JINRIKI：鎌田・ライフセーバー 最後尾：大川（防災協のぼり掲出） センター職員（移動時間差の把握）</p>
45分	<p>【湘南メディカルビル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入したお茶の受け取り ・先頭のビル前交差点到着時間を最後尾職員へ伝達 <p>【市民センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階の備蓄倉庫確認のため開錠 ・消防側出口ドア開錠 ・訓練参加者が到着したらスロープ入口開錠 ・購入したお茶の受け取り ・先頭のセンター前横断歩道到着時間を最後尾職員へ伝達 	担当：センター職員
10時00分 ※西会場は 10時10分	<p>【東会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者、湘南メディカルビル到着 ・屋上への入口で参加者案内及びお茶の配布 ・閉会式が2回の場合は、後続の参加者を屋上への入口前の駐車場で待機させる。 ・車椅子は屋上への入口前に置き、レスキューシートを使って参加者を屋上へ運ぶ。 <p>【西会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者、辻堂市民センター到着 ・入り口で参加者案内及びお茶の配布 ・JINRIKI装着の車椅子を使って、参加者を屋上へ運ぶ（担ぎ手はライフセーバーと鎌田アドバイザーに交代） ・閉会式が2回の場合は、後続の参加者を消防側の屋上で待機させる（2回目の閉会式会場）。 	<p>【東会場】</p> <p>レスキューシート： ライフセーバーと参加者で4名を確保する。</p> <p>【西会場】</p> <p>JINRIKI：鎌田・ライフセーバー</p>
15分 ※西会場は 25分	<p>閉会式（状況により2回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難ビルの紹介、JINRIKI装着の車椅子の紹介、ライフセーバーの紹介などを取り入れる。 <p>【西会場】</p> <p>解散後に車椅子の階段昇降体験を行うことを紹介し、参加者を募る。</p>	<p>【東会場】</p> <p>司会：松木 挨拶：小川会長</p> <p>【西会場】</p> <p>司会：福田 挨拶：國弘副会長</p>

30分 ※西会場は 40分	解散 【東会場】 解散後、屋上に誰も残っていないことや、忘れ物がないかを確認する。	担当：全員
45分	【西会場】 解散後、車椅子の階段昇降体験 ※希望者がいれば実施。	担当：鎌田・ライフセーバー
11時10分	【西会場】片付け ・屋上に誰も残っていないことや、忘れ物がないかを確認する。 ・車椅子を降ろし、JINRIKI を取り外して所定の位置に戻す。	担当：全員

※補足：中止の場合については、原則ゴミゼロクリーンキャンペーンに準じる。
当日午前6時～7時に開催あるいは中止を決定。当日午前6時の時点で、大雨や津波等に関する注意報・警報が発令されている場合は中止。実施の有無については、決定次第（公財）かながわ海岸美化財団のホームページでも周知を予定。

1.3 実施に伴う注意事項（案内に記載の内容）

- (1) 当日、気分のすぐれない方は、参加しないでください。
- (2) 帽子をかぶりましょう。ケガ防止のため、靴は必ず履いてください。
- (3) ケガをしたり、気分が悪くなった場合は、各会場受付にいる市職員にお申し出ください。
- (4) お子様をお連れの方は、迷子にならないよう、十分ご注意ください。
- (5) 当日は日曜日のため、海岸付近の道路は混雑が予想されます。道路を渡る際は十分ご注意ください、また、お車でのご参加は、ご遠慮ください。
- (6) 当日、大きな地震があった場合、津波の危険がありますので、すぐに高い所へ避難してください。
- (7) 雨天中止（小雨決行）の実施確認は、（公財）かながわ海岸美化財団のホームページでご確認いただくか、当日7時30分から辻堂市民センターまでお問い合わせください。（TEL：34-8661）

1.4 訓練準備品等

品目	数量	手配元	備考
車椅子（センター）	2台	辻堂市民センター	西会場用
車椅子（防災協）	2台	辻堂地区防災協議会	西会場用 鎌田アドバイザーが用意
車椅子（東海岸3丁目）	1台	辻堂東海岸3丁目	東会場用
飲み物 （ペットボトル）	500個	辻堂地区防災協議会	参加者用 東会場 200個、西会場 300個
国際信号旗 U	2旗	辻堂地区防災協議会	ゴミゼロ会場にて目印用 引率時の先導用
防災協のぼり	2旗	辻堂地区防災協議会	ゴミゼロ会場にて目印用 引率時の最後尾用
JINRIKI （牽引式車椅子補助装置）	4台	辻堂地区防災協議会	西会場用 鎌田アドバイザーが用意 2台は車椅子（防災協）に 取付済で搬入
	1台	辻堂東海岸3丁目	東会場用
レスキューシート	1枚	辻堂市民センター	防災倉庫 東会場用
横断旗、ビブス	8旗	辻堂市民センター	防災倉庫 横断歩道誘導用
ベスト、ジャンパー	適量	辻堂地区防災協議会	防災倉庫
無線機	10台	辻堂市民センター	情報連絡用
カメラ	2台	辻堂市民センター	充電確認
メガホン	2台	辻堂市民センター	東西会場に配備

以上

令和5年度 第1回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)4月13日(木) 10時～12時

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 1 委員 …秋山副会長、和田委員、吉田(紀)委員、久保田委員、堀川委員、鶴田委員、千葉委員

2 事務局 …片山、狩野尾

(議題等) 1 事務局紹介

2 主担当決め

3 湘南工科大学授業参加協力

4 第8回辻堂寫眞館について

5 辻堂さんぼについて

6 辻堂の海を知ろう～SUPでSDGs体験～

7 その他

(議題)

1 事務局紹介

事務局 {狩野尾(副担当)} の自己紹介をした

2 主担当決め

配布資料「令和5年度辻堂交流部会事業予定表(案)」を用いて、主担当決めを行った。

欠席の委員については事務局から連絡をして担当を決めていただき、次回の部会で確定版を配布する。

現時点での担当者は以下の通り。(下線部分が今回の決定箇所)

事業名	活動概要	主担当(敬称略)
辻堂朝市		久保田、堀川、吉田(秀)
みんなで美化キャンペーン		吉田(紀)、久保田
辻堂歴史物語		吉田(秀)、芳山
辻堂寫眞館		秋山、千葉
辻堂さんぼ		全員
辻堂ストリートギャラリー プロジェクト		和田、堀川
湘南工科大学 授業参加協力		全員
辻堂の海を知ろう!	SUPでSDGs体験	鶴田、和田、吉田(紀)
	映画観賞会	芳山、鶴田、吉田(紀)
	漂着物を使った ワークショップ	和田、千葉、吉田(紀)

子ども回覧板		吉田(秀)、秋山、千葉
ふるさとマップの更新		吉田(秀)、秋山、吉田(紀)
辻堂公民館まつり		千葉、堀川

3 湘南工科大学授業参加協力

授業に参加できる委員の選出をした。また、4月の全体会議で他部会にも参加を呼び掛けることになった。

待ち合わせ：湘南工科大学正門に午前10時15分集合

5月22日(月)10時30分～ 参加者：和田委員、堀川委員、久保田委員

4 第8回辻堂寫眞館について

第8回「おかあさんといっしょ 辻堂」の実施に向けて、スケジュールの確認及び作業参加者の選出を実施した。

(1) 5月3日(水)～6月30日(金)

記事の原稿校正 →4月26日(水)まで

(2) 5月1日(月)9:00～ 展示作業

→参加者：和田委員、秋山部会長、堀川委員、千葉委員

事務局で印刷しておいた記事や写真を模造紙に貼り、辻堂市民センター2Fの廊下に展示する。

5 辻堂さんぽについて

実施に向けて、今後の予定を確認した。開催期間：4月20日(木)～5月22日(月)

(1) 協賛企業へのチラシ納品・引換券案の確認依頼→事務局が行う。

(2) クイズ貼紙の作成・くじの作成・景品の仕分け

日時：4月18日(火)13時30分～

場所：辻堂市民センター

参加者：和田委員、中野委員、千葉委員、事務局

(3) 交換所への景品納品→4月19日(水)事務局

(4) チェックポイントへのクイズ貼り

日時：4月19日(水)

参加者：チェックポイントごとに分担する。

①②：和田委員

③④：事務局

⑤⑥⑦：久保田委員

⑧⑨⑩：千葉委員

⑪⑫：吉田(秀)委員

⑬：堀川委員

6 辻堂の海を知ろう～SUPでSDGs体験～

実施にむけて、次の内容について議論した。

(1) チラシについて

広報ふじさわ4月25日号で地域回覧

辻堂地区内小学校・鶴南小学校へチラシの掲示または配布依頼。

また、チラシ案について、次のとおり意見があった。

【意見】

- ・時刻は機材の調達時間を踏まえて、①9:30～10:30②11:00～12:00
③13:00～14:00④14:30～15:30に変更すべき。
- ・日時、会場、定員、参加費に加えて対象も再度記載してはどうか。
- ・定員に関して、キャンセル枠を設ける旨を記載してはどうか。
- ・ふじキュンのイラスト部分はSUPの写真のほうがイメージしやすいのではないか。
- ・主催、問合せは裏面に記載すればいいのではないか。
- ・「当日の流れ」に集合時間を記載してはどうか。
- ・「応募条件・方法」に濡れる場合を考慮して、着替えやマリンシューズを持参していただく旨を記載すべきではないか。
- ・イベントの保険についても記載が必要ではないか。
- ・「今後のイベント」について、小学3年生～6年生以外も参加可能なことを記載してはどうか。
→意見の内容は紙面を見ながら事務局で反映し、校正結果をLINEで共有する。

(2) インストラクター集めについて

鶴田委員を含めず、7名集める予定ですでに声掛けを行っている。

(3) 浮遊物作り、サザン池での試行

次回の部会で検討

(4) その他の提案・意見

- ・チラシ案に明記はないが、辻堂地区の小学3年生～6年生が対象という認識でよいか。
→辻堂地区以外でも三者連携に該当する小学校（鶴南小学校）を対象とするかは検討が必要。事務局の中で調整し、その結果はチラシの応募条件・方法に反映する。
- ・事業名について、「辻堂の海を知ろう」ではなく「辻堂の海を守ろう」のほうが事業内容に相応しいのではないか。
→すでに海浜公園には「知ろう」で提出しているが、今後表現は「守ろう」に統一する。
- ・着替えに関して、海浜公園内の施設は使用許可がでなかったため、基本的には着替えなしの方針だが、濡れる場合を考慮し、テントがあるとよいのではないか。
→堀川委員私物のテントを使用する可能性あり。実際に組み立ててみて決定する。
- ・サザン池について確認したところ、池の水は雨水頼りで量が天候によって変わってしまうことがわかり、開催日付近で雨が降らないとSUPを浮かべられない可能性も出てきた。今後試行する際にはこのことにも留意し、開催条件の検討やボードのフィンを外すなどの対策も考える必要がある。

7 その他

3月の全体会議にて、各テーブルで出た辻堂交流部会の事業に関する意見を共有した。

- ・東側の方から、西側の行事に参加しづらい。
- ・みんなで美化キャンペーンは今の2か所以外は検討できないのか。
- ・参加型の行事が少ないため増やしたほうがよい（東西それぞれで山車を出す祭など）。
- ・辻堂ストリートギャラリープロジェクトのフラッグについて、写真を募集する時点で画像サイズを指定し、加工がないようにした方がいいのではないか。
- ・辻堂交流部会は事業数が多いのではないか。新たな事業を検討する時はスクラップ&ビルドを考える必要がある。変化させることで、新しい市民の方も参加しやすい環境にしていけるのではないか。

→提案いただいた意見について、試行錯誤し、応えていけるようにする。

以上

【次回部会日程】

日時：2023年5月11日(木)

10時～11時30分頃

会場：辻堂市民センター 第一談話室



辻堂寫眞館

しやしんかん



～第8回 おかあさんといっしょ 辻堂～



ママおいしいです(昭和30年代前半)

辻堂寫眞館は、皆様の懐かしい思い出の写真を紹介させていただく「皆様が主役」の写真展です。

第8回は「おかあさんといっしょ」と題し、昭和20年～30年代の母と子の懐かしい写真を集めました。ほほえましい写真の数々が昭和の時代を思い起こします。

皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

展示期間 2023年5月3日(水)～6月30日(金)

午前8時30分～午後9時

(辻堂市民センター・公民館開庁時間のみ)

展示場所 辻堂市民センター 2階廊下

(藤沢市辻堂西海岸2-1-17)

※展示物の写真撮影はご遠慮ください。

※車でのご来場はできません。



【主催】辻堂まちづくり会議

【お問合せ】辻堂市民センター 地域づくり担当

電話※(0466)34-8661 メールfj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp

※土日祝日を除く、午前8時30分～午後5時(正午～午後1時を除く)

小学3年生～
6年生対象

辻堂の海を守ろう！

サップ ～SUPでSDGs体験～



SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を学ぶため、
「マリンスポーツをしながらのごみ拾い」
を疑似体験しよう！

日時:6月3日(土) ※雨天時は6月10日(土)に延期
①9:30～10:30 ②11:00～12:00
③13:00～14:00 ④14:30～15:30

会場:辻堂海浜公園(サザン池)

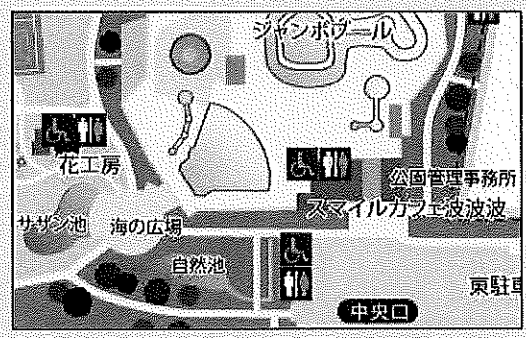
参加費:無料

定員:①～④の枠で各12人

応募期間:2023年4月25日(火)

※応募の詳細は ～5月19日(金)

裏面をご覧ください。



※会場(サザン池)の公園内周辺図

サップ

SUPとは...

Stand Up Paddleboardの略で、
サーフボードより大きめのボード
に乗り、パドルを漕いで水面を
進んでいくスポーツです。

インストラクターがつくので
初めての人も安心！

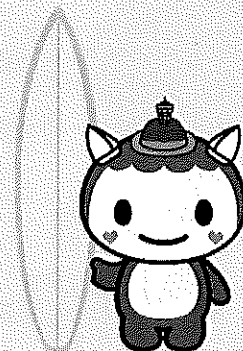


【主催】 辻堂まちづくり会議
辻堂地区生活環境協議会
高浜地域子ども支援会議
ネットワーク湘南堂夢

【問合せ】
辻堂市民センター地域づくり担当
電話(0466)34-8661
メール fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp

当日の流れ

1. 全体説明(SDGsやSUPのことなど)
2. SUPの基本練習(座り漕ぎ、立ち漕ぎ)
3. SUPを漕いでのごみ拾い疑似体験
4. 体験を振り返って終了



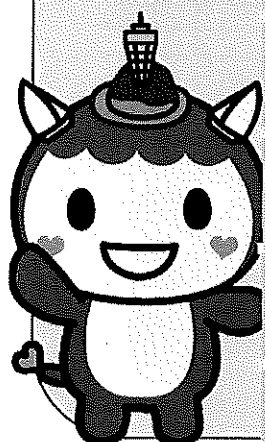
応募条件・方法

応募期間: 2023年4月25日(火)~5月19日(金)

- 応募には次の条件があります。
 1. 小学校3年生~6年生の児童であること
 2. 当日、保護者が同伴できること
 3. 濡れてもいい格好で参加できること
- 応募方法は電子申請となります(登録不要)。
- 応募数が多かった場合は抽選となります。
- 当落は応募時のメールアドレスへ通知します。



↑電子申請はこちら



あしらせ

「辻堂の海を守ろう！」イベントは
こんなSDGs体験も予定しています！

- ・マイクロプラスチック問題に子どもたちが
取り組んだドキュメンタリー映画の上映会
- ・辻堂海岸で拾ったプラスチックごみなどを
使って行うワークショップ

【主催】 辻堂まちづくり会議
辻堂地区生活環境協議会
高浜地域子ども支援会議
ネットワーク湘南堂夢

【問合せ】 辻堂市民センター 地域づくり担当
電話(0466)34-8661
メール fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp

令和5年度 第1回 辻堂まちづくり会議福祉部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)4月20日(木) 13:30~15:30

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 近藤委員、伊藤委員、大橋委員、松尾委員、富田委員、村上委員、山下委員、池本委員

(事務局) 辻堂市民センター 横田、古河
地域共生社会推進室 玉井、佐藤、渡邊 (敬称略)

- (議題等) 1. 今年度の計画について
2. 事業内容及び方向性の確認
3. その他

〈議題〉

1 今年度の計画について

事業の進捗状況について、別添「令和5年度 福祉部会事業予定表(案)」に基づき、各担当の委員から報告した。

2 事業内容及び方向性の確認

(1) 障がいの理解～防災を通して考える～

- ・昨年度は対象を限定して実施したが、今年度は対象を広げての実施を検討する。
- ・山下委員が協力団体と相談し、内容等を検討する。

(2) さんわーくかぐや「かぐやびより」上映会

- ・候補日：8月10日(木)、15日(火) 会場：ホール
- ・上映会のほか、監督や施設代表の方を招いた企画等の詳細は、村上委員が「かぐやびより」上映委員会等と調整を行う。

(3) 絵ほん語り公演

- ・開催日：7月29日(土) 予定 会場：ホール
- ・子どもの参加を促すため、内容や周知方法を見直す。

(4) 認知症フレンドリーキッズ授業

- ・候補日：8月23日(水)、29日(火)、30日(水) 会場：ホール
- ・開催日時や詳細な内容について、事務局が朝日新聞と調整を行う。

※(2)(3)(4)は、夏休み企画として開催を予定しているため、チラシは1枚にまとめた構成とし事務局が作成する。5月18日(木)の部会でたたき台を確認、6月15日(木)の部会で最終(案)を確認、6月22日(木)の全体会で決定する。6月下旬に学校に配布する。

(5) グリーン回廊ウォーキング

- ・「ミニさんぽ」は秋季実施を予定
- ・開催日時や詳細な内容（長久保公園内のプログラムは要検討）は、富田委員、高野委員が調整を行う。

(6) 世代間交流事業

- ・7月から9月まで全4回のプログラムを計画
- ・第1回に車イス体験、第2回に高齢者疑似体験、第3回に盲導犬への理解、第4回に認知症サポーター養成講座の内容を予定している。
- ・伊藤委員が、昨日の地区社会福祉協議会役員会で資料提供
- ・次回の福祉部会で同じ資料を提供

3 その他

(1) ヤングケアラーについて 【主な意見等】

- ・ヤングケアラーについて、辻堂地区として何か働きかけをしたい。
 - ・他団体・機関等では、ヤングケアラーを題材にした映画「ふたり～あなたという光」の上映会や、啓発チラシの配布、学習支援が行われている。
 - ・福祉部会でも何かできないか。
 - ・藤沢市の地域共生社会推進室で「ケアを担う子どもたち」、高齢者支援課で「ケアラーケア」のチラシを作成し、辻堂市民センターの1階にも配架してある。
実態があってもなかなか相談窓口につながらないケースが多いので、何とかしてチラシ等に記載の各相談窓口につなげていただきたい。
 - ・民生委員と先生の懇談会の際、ヤングケアラーで学業に支障が出ている子どもはある程度、学校で把握しているとのこと。
 - ・学校にも行くことができない子どもの学習支援をする必要があるのではないか。
 - ・子どもの学習の遅れを補う支援にとどまらず、家庭全体の支援が必要
 - ・地域の実態を知ることが先決。実施することが目的になってはいけない。まずは1年かけて委員が勉強し、翌年度に見えてきた課題に取り組んでみてはどうか。
 - ・学校の先生や民生委員に調査した資料や、地域包括支援センターやCSWがもっているケースを取り上げることができる。
 - ・地区内のヤングケアラーを見つけ出すためには環境づくりが必要だと思う。チラシを配る機会をつくるための講演会を開催し、その参加者を支援していくなど、何か実行に移したい。
 - ・勉強会をやって、どうやって先につなげるのか。広げていくイメージがつかない。
現時点でまちづくり会議として取り組むべきことが見えない。
 - ・任期があと1年しかない中で、新しい事業に取り組むのは難しいのではないか。次の任期の方に宿題を残すようになる。
 - ・地域ができることは、介護現場でのケアラーケアと同じように、ヤングケアラーの家庭に気づき、CSWや関係機関に相談し、つなぐことが大事。
- 今後、継続的な話し合いが必要か検討

(2) 相乗りシステムについて 【主な意見等】

- ・「m o b i (モビ)」という30日間5千円でエリア内乗り放題の交通システムが、全国約22エリアで実施されている。

これとは別にパナソニックもそういったシステムを始めているらしい。

これが辻堂地区でもできれば、高齢者の免許返納および交通事故減少につながるのではないかと。

- ・辻堂地区の一部に、駅やバス停が一定の距離の範囲内に存在せず、地域公共交通が利用しづらい地域（公共交通空白地域）があり問題になっていることから、このような交通システムを推進していくのは良い。まちづくり全体で市に提言してみるのも良い。

→交通問題はくらし安心・安全部会として取り組んでいる。

(3) 子ども食堂について 【主な意見等】

- ・地区内の飲食店で子ども食堂に関心のある店舗がある。

それら店舗を支援できたら、いずれは地区全体で子ども食堂の輪ができ、面として発展できたら良い。

- ・CSWに複数店舗が子ども食堂に関心を持っている、または既に実施しているという情報が入っている。また、その支援をお願いされている。

→今後、継続的な話し合いが必要

(4) 新規事業について

- ・今年度実施予定の事業内容が固まってきたので、新規事業を1つ考えても良いのではないかと。

→今後、継続的な話し合いが必要

(5) 辻堂朝市の担当について

→5月11日（木）：富田委員、村上委員、池本委員

5月25日（木）：伊藤委員、山下委員、近藤委員

(6) 辻堂駅前掲示板の担当について

→5月1日（月）：池本委員

以上

次回部会：2023年（令和5年）5月18日（木）13時30分～

令和5年度 第1回 辻堂まちづくり会議 広報委員会 議事録

日時	2023年4月20日(木) 9:30 ~ 11:50
場所	辻堂市民センター 地区防災拠点本部室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 松本 <input type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 開会 2 議題 (1) 令和5年度の事業計画(案)について (2) その他 3 閉会
資料	・令和5年度広報委員会事業予定表 ・湘南工科大学「社会貢献活動」団体情報 ・ // 実施日程

【議事録】

1 開会

2 議題

(1) 令和5年度事業計画(案)について

事務局から令和5年度予定表に沿って説明を行い、実施計画について検討を行った。

ア. 駅前掲示板の活用

- ・主担当は久保田委員長とする。
- ・季節感のある装飾を引き続き作成し、飾っていく。「辻堂まちづくり会議」の文言のみを強調するのではなく、アピールしたいイベントなどの名称を大きいフォントで掲載するのがよいかもしれない。また、掲載数量を絞って大きくインパクトのあるものを掲示するような、人の目を引く細工を考えていく。
- ・ネットを使った検索をしない人には、こうしたシンプルな情報発信で引き続き効果を狙っていく。
- ・FacebookのQRコードは既に掲示してある。
- ・サークルの募集では効果が出ているようで、掲示板を見た人が加入した事例が数件あると聞いた。各サークルでは、掲示板を使ってPRができることを知らない団体もある。サークルボックスに掲示板を利用できる旨の案内を入れるなど、年度初めに実施し、活用を促していく。(次回検討)
- ・掲示物による反響がどの程度であるのかは、イベント後のアンケートなどで効果を検証していく必要がある。

イ 辻堂公民館まつり出展

- ・主担当は尾崎会長とする。
- ・資料の目的欄に「地域住民の意見を汲み取る」の記載を追加する。
- ・今年度の公民館まつりでは、「広報委員会でスペースの使い方や時間の枠配分などフレームを考え、それを各部会に割り振りし、部会ごとに内容等を検討し作成等をする」というやり方を提案する。
- ・4月の全体会の中で、前年度と同様に、企画運営委員を2名選定してもらうように依頼する。
- ・5月全体会議後にまつり企画運営委員会を開催する。

ウ 辻堂地区全体集会

- ・主担当は小川副会長とする。
- ・昨年度実施したシン辻堂カルタについては、意義のあるものが形になって残った。あとは、地域住民が閲覧できるように対応する必要がある。
→ボードにするなどの対応だと、それなりの予算が必要になるため、辻堂市民センターHPへの掲載準備を進めていく。
- ・今年度は任期2年目になるため、2年間の活動報告を行い、辻堂地区で行った事業のアウトプットをしていく事がメインとなる。
- ・毎年、企画検討開始時期が遅くなり直前でドタバタしてしまう。公民館まつりと同様に、4月の全体会議の中で、各部会から企画運営委員を選出してもらうよう依頼する。
- ・8月頃から検討を始める。

エ オンライン cafe

- ・主担当は尾崎会長とする。
- ・企画開始後は、地域のレストランの人などを呼んで紹介するような取り組みを行い、なかなか好評であった。
- ・例えば姉妹都市との交流など、離れた地点同士のやりとりなどで強みのある事業だと思う。
- ・機材の準備や土日の対応などで、センター職員に負担をかけてしまっている。
- ・Zoom だけが手段ではなく、他にもフェイスブックや Youtube など、様々な選択肢がある。いったん立ち止まって考え、掲げている目的に沿った最適な手法を検討していく。

オ 辻堂プライド

- ・主担当は久保田委員長とするが、全員で認知度向上に取り組んでいく。
- ・今までグッズ化したものを取りまとめ、今後の活用について検討する。
- ・ロゴマークをうまく使った塗り絵を作ってみるなど、子どもを取り込んだ認知度の向上を狙うのも手かもしれない。
- ・フェイスブックにロゴマークについて掲載する予定。

カ 辻堂まちづくり会議だよりの発行

- ・主担当は秋山副会長とする。

- ・興味がある人にはいい資料になっていると思う。
- ・まちづくり会議を他者に説明する際に、これがあるのとないのでは随分と違う。
- ・昨年度と同時期の2024年3月に発行するが、どのような内容に乗せるかについては、もっと前から検討を進めていきたい。活動の結果は出揃っていないなくても、9月ごろから検討を開始する。

キ インターネットを活用した情報発信

- ・主担当は久保田委員長（辻堂発見リポーターは尾崎会長）とする。
- ・フェイスブックを定期的に見てもらおうコツをコンサルから聞いたことがある。不定期更新ではなく、毎週何曜日の何時など決めてアップしていくと、閲覧側も離れていかない。そうしたコツも可能な範囲で取り入れていく。
- ・各部会に広報担当者を置いていただき、取り上げたい記事の文章作成をしていただきたい。

(2) その他

○湘南工科大学社会貢献活動「辻堂発見！リポーター」について

- ・4/20現在で令和5年度を受講予定者が2人となっている。
- ・学生には、各部会で行う事業や地域団体の活動の周知や参加（取材）しての感想等を、SNSを活用して情報発信していただく。
- ・主担当が学生の参加する活動に毎回立ち会う事はできないが、各部会と連携して、学生が困ってしまうことがないようにしていきたい。

【今後の予定】

○まちづくり会議・委員と市長との意見交換

4月27日（木）13：30～14：30／ホール

○4月全体会議

4月27日（木）14：30～15：30／ホール

○次回委員会

5月18日（木）9：30～／地区防災拠点本部室

以上

特集 地元を感じる幸せや誇りを共に創り出す飛躍の年に 郷土愛あふれる藤沢をめざして

2023年度の市政運営に関する市の基本的な考え方と実施予定の主な事業をお知らせします。

問い合わせ

企画政策課 ☎内線2175、FAX(50)8436

市政運営の方針について

2月14日の市議会本会議で、鈴木市長は2023年度の市政運営の方針について説明しました。

この中で、昨今の社会・経済情勢を背景に生じている課題やデジタル化の必要性などに、しっかりと向き合い「市民の日常を守り、健康寿命日本一を目指す」まちづくりを進めていくという決意を表明しました。

また、藤沢で暮らし、学び、働くことが「幸せ・誇り」となるよう、人の和を大切にする市政運営に取り組んでいく考えを示しました。コロナ禍を経て変化する価値観を共有し、持続可能な地域社会を共に創り出すために、未来に責任を持って、都市基盤の整備や地域コミュニティの強化を図っていきます。

※詳細は市のホームページの企画政策課のページをご覧ください



5つのまちづくりテーマに基づく2023年度の重点的な取り組みを紹介します

1 安全で安心な暮らしを築く

- ☆災害から市民の生命・財産を守るため、津波避難施設の整備を継続、車いすリフターなどの機能を備えた最先端の起震車を導入
- ☆市民生活を守る消防救急活動の基盤づくりのため、南消防署本町出張所の再整備に向けた調査、設計業務および仮設庁舎への移転を実施
- ☆浸水被害の軽減のため、用田1号水路の改修に向けた予備設計を実施
- ☆防犯対策として、迷惑電話防止機能付電話機などの購入補助を継続、バーチャルリアリティーを活用した防犯体験学習機会の提供を実施
- ☆交通安全対策として、交差点の車止めの設置やキッズ・ゾーンの路面標示を実施、歩行者横断点減機の実証を継続
- ☆総合的な新型コロナウイルス感染症対策の実施
- ☆市民病院に新たな専門診療科として「腎臓移植内科」および「腎臓移植外科」を開設



キッズ・ゾーンの路面標示

2 健康で豊かな長寿社会をつくる

- ☆自らの健康状態を把握してもらうため、胃がん検診内視鏡検査における70歳以上の対象者の自己負担額無料化を実施、健康診査を推進
- ☆若年から高齢者までの健康づくりを支援するため、「ふじさわ歩くプロジェクト」を継続、スマホアプリを活用した「いきいきシニア外出支援事業」を新たに実施
- ☆障がいのある人への合理的配慮を推進、重症心身障がい児者などを対象とした短期入所利用の促進、11歳以下の障がい児が利用できるよう訪問入浴事業を拡充
- ☆がん患者の療養生活を支援するため、ウィッグや胸部補整具の購入費用などの補助を新たに実施
- ☆六会地区の住民によるキャンドルナイトのイベント事業や、鶴沼地区において商店街と連携し新たなまつりを創出する事業など、各地区においてまちづくり事業を実施

3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

- ☆中学生の医療費助成に係る所得制限の撤廃
- ☆妊娠・出産・子育てを応援するため、産後ケア事業について在宅でサービスが利用できるよう支援を開始、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に推進
- ☆新たな保育需要への対応などのため、法人立認可保育所の再整備費用を助成、市立善行保育園・善行乳児保育園の再整備に向けた事業者選定および設計に着手
- ☆公立保育園5施設において、新たに3～5歳児クラスの児童を対象に主食の提供を開始
- ☆医療的ケア児とその家族の支援のため、相談体制の整備や訪問看護師などによる一時的看護を実施、受け入れ保育施設の拡大や看護師の常駐配置など実施体制を充実
- ☆保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」を小・中学校計26校へ拡大
- ☆基礎的学力定着のための補習指導について、小学校の実施校を拡充
- ☆教育の機会を保障するため、中学校において不登校生徒への別室などでの学習指導を実施



地域の協力による校外学習



市民の健康づくりを支援します



下水道の老朽化対策を進めます



持続可能な農業の実現を目指します

4 都市の機能と活力を高める

☆藤沢駅周辺地区の再整備については、藤沢駅南北自由通路拡幅の第1期工事に着手、駅前街区のデザインコンセプトを検討、南口駅前広場の再整備、指定管理者制度を活用したにぎわい創出事業などのプロジェクトを推進

☆村岡新駅周辺地区の整備については、新駅の詳細設計やまちづくりガイドラインの検討などを継続、官民連携事業に向けた取り組みなどを推進

☆健康と文化の森地区および新産業の森地区について、市街化区域編入や土地区画整理組合設立の認可に向けた取り組みを推進、地域経済の動向を踏まえたまちづくりの具体化に向けた検討を実施

☆MaaS(新たな移動サービス)などの技術革新や交通実態の変容などを踏まえた交通関連計画の見直し、善行長後線六会工区をはじめとする道路の計画的な整備

☆下水道事業における老朽化対策の着実な推進

☆企業立地を効果的に進めるため、市内空き工場・事業用地の調査を新たに実施

☆持続可能な農業の実現を目指し、優良農地の維持・保全に資する耕作条件改善の支援や農道整備を実施

5 未来を見据えてみんなではじめる

☆地球温暖化対策の推進のため、電気自動車の導入補助件数の拡充および急速充電設備設置に関する補助の新設などを実施

☆問い合わせに一元的に応対するコンタクトセンターの運営、保育事業や道路照明灯へのICT(情報通信技術)の活用、映像通報システムや救急活動のデジタル化など、デジタル市役所・スマートシティの取り組みを推進

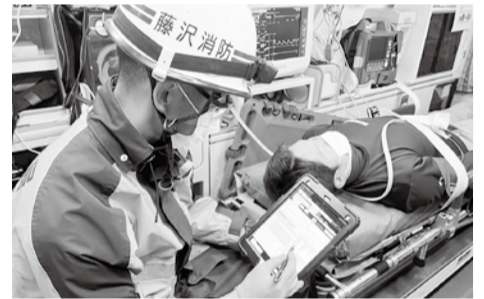
☆スマホの取り扱いに関する講座や相談窓口の設置などを実施

☆介護人材の育成支援に対する補助の拡充、保育士・幼稚園教諭などの人材確保策の充実、地域医療などを担う看護人材の定着に向けた支援を実施

☆市民会館や旧南市民図書館など生活・文化拠点の再整備に向けた取り組みを推進

☆「チームFUJISAWA2020」と市内大学との連携事業を開始

☆プロスポーツチームと地域との交流事業を支援、今後のスポーツ施設のあり方を検討するための基礎調査など安心して利用できるスポーツ環境整備を推進



救急活動のデジタル化



スマホ何でも相談窓口

「藤沢市市政運営の総合指針2024」における3つのまちづくりコンセプト

2021年に策定した「藤沢市市政運営の総合指針2024」には、SDGsの視点を取り入れ、3つのまちづくりコンセプトを位置付けています。

※詳細は市のホームページの企画政策課のページをご覧ください

○藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち(サステナブル藤沢)

現在の世代だけでなく、将来の世代のニーズも満たすものであるかどうか、未来の人たちに誇れる取り組みであるかどうか、市の全ての取り組みを問い直し、持続可能な発展を目指します。

○共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち(インクルーシブ藤沢)

誰一人取り残さないという思いで、誰もが暮らしやすく、多様な生き方・考え方を認め合う、多彩な魅力と活力があふれるまちづくりを進めていきます。

○最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち(スマート藤沢)

さまざまな課題に最先端技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図るとともに、ICTの力で市民参加の促進やコミュニティの活性化に取り組みます。



辻堂地区 郷土づくり推進会議

郷土づくり委員と市長との意見交換

日時 2023年4月27日（木）



令和4年度市民意識調査結果

＜都市像 郷土愛あふれる藤沢＞
誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまち
であること

実現度

82.1%

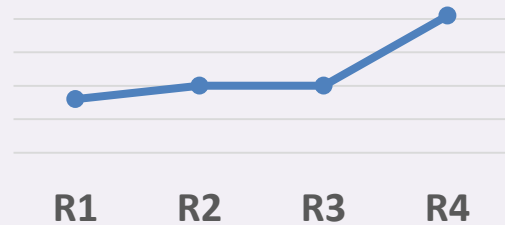
未達成度

17.9%

実現度の経年変化

2.1ポイントUP!

83%
82%
81%
80%
79%
78%



＜都市像 郷土愛あふれる藤沢＞
子どもが大人になっても愛着の持てるまち
であること

実現度

82.8%

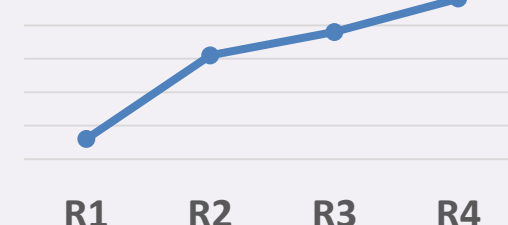
未達成度

17.2%

実現度の経年変化

1.0ポイントUP!

83%
82%
81%
80%
79%
78%



＜サステナブル藤沢＞
将来にわたって、多くの人
に愛され住み続けたいと思
えるまちであること

実現度

81.8%

未達成度

18.2%

1.1ポイントUP!

＜インクルーシブ藤沢＞
人権が守られ、多様性を
認め合う、支え合いのま
ちであること

実現度

68.1%

未達成度

31.9%

1.1ポイントUP!

＜スマート藤沢＞
デジタル技術など、最先端
のテクノロジーが活用された
まちであること

実現度

29.7%

未達成度

70.3%

3.4ポイントUP!

5つのまちづくりテーマに基づく2023年度の重点的な取り組みを紹介します！

- ①安全で安心な暮らしを築く
- ②健康で豊かな長寿社会をつくる
- ③笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる
- ④都市の機能と活力を高める
- ⑤未来を見据えてみんなではじめる

①安全で安心な暮らしを築く

**市民生活を守る消防救急活動の基盤づくりのため、
南消防署本町出張所の再整備を実施します**



①安全で安心な暮らしを築く

機動救急隊の運用開始！

救急需要の増加に対応

- 市内全域へ柔軟に配置し、万全な救急体制の確立を図ります
- 救急件数が多い時期や、市民マラソン等のイベント開催時などには、曜日・時間にとらわれない運用を行います



①安全で安心な暮らしを築く

バーチャルリアリティーを活用した防犯体験



「犯罪機会論」に基づき、全国自治体初の取組

市内の道路・公園・海岸など実際の風景をVRの中で映像化
防犯上で注意すべき視点など、体験学習できます

①安全で安心な暮らしを築く

藤沢市防犯体験学習VR(360° VR動画)

- VR動画（ダイジェスト編）は藤沢市のホームページから視聴できます

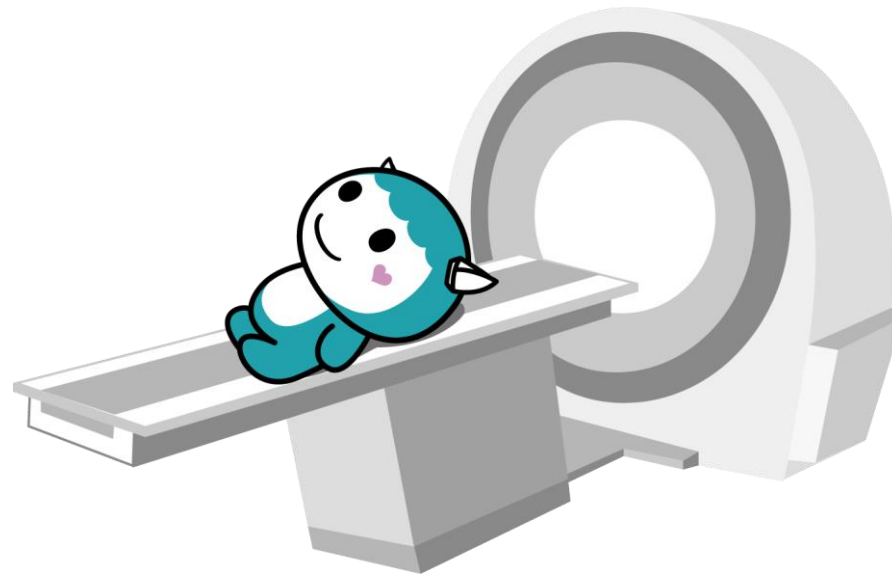
パソコンやスマートフォンでも360°で視聴することができます

※パソコンの場合は、マウスで360°見渡すことができます

②健康で豊かな長寿社会をつくる

●胃がん検診内視鏡検査

70歳以上は無料で検査を受けられます



②健康で豊かな長寿社会をつくる

- 「ふじさわ歩くプロジェクト」を継続します
- 新たに、スマホアプリを活用した「いきいきシニア外出支援事業」を実施します



③笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる 妊娠・出産・子育てを応援します

● 産後ケア事業

デイサービス

ショートステイ

アウトリーチで在宅支援はじめます



● 伴走型の相談支援と経済的な 支援を一体的に行います



④都市の機能と活力を高める

藤沢駅周辺地区の再整備

藤沢駅南北自由通路拡幅の第1期工事に着手します

駅前街区のデザインコンセプトを検討します

南口駅前広場の再整備を行います

指定管理者制度を活用したにぎわい創出事業などのプロジェクトを推進します

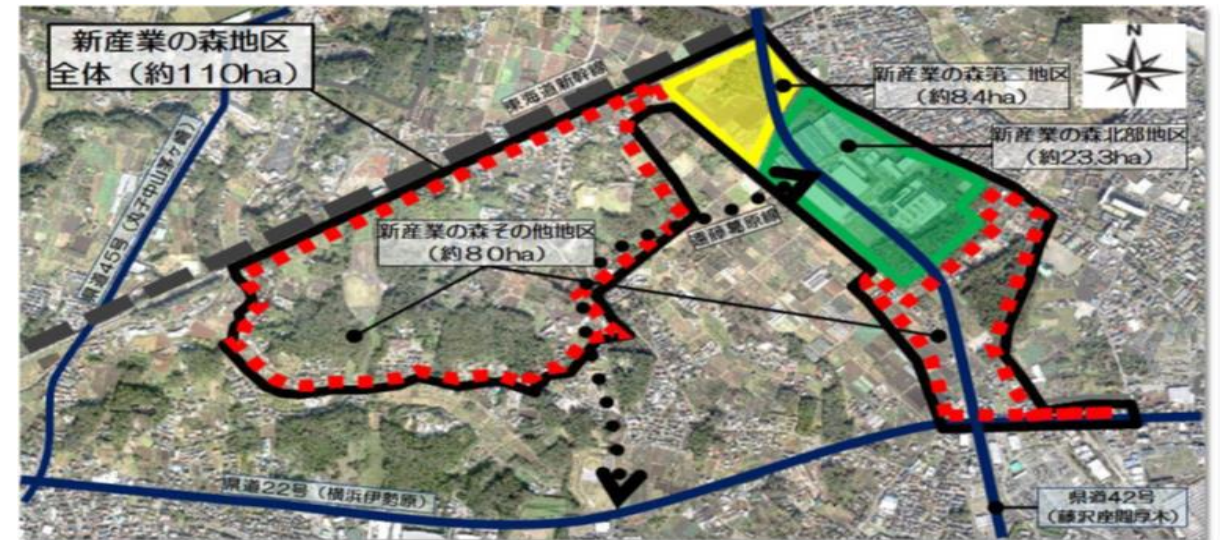
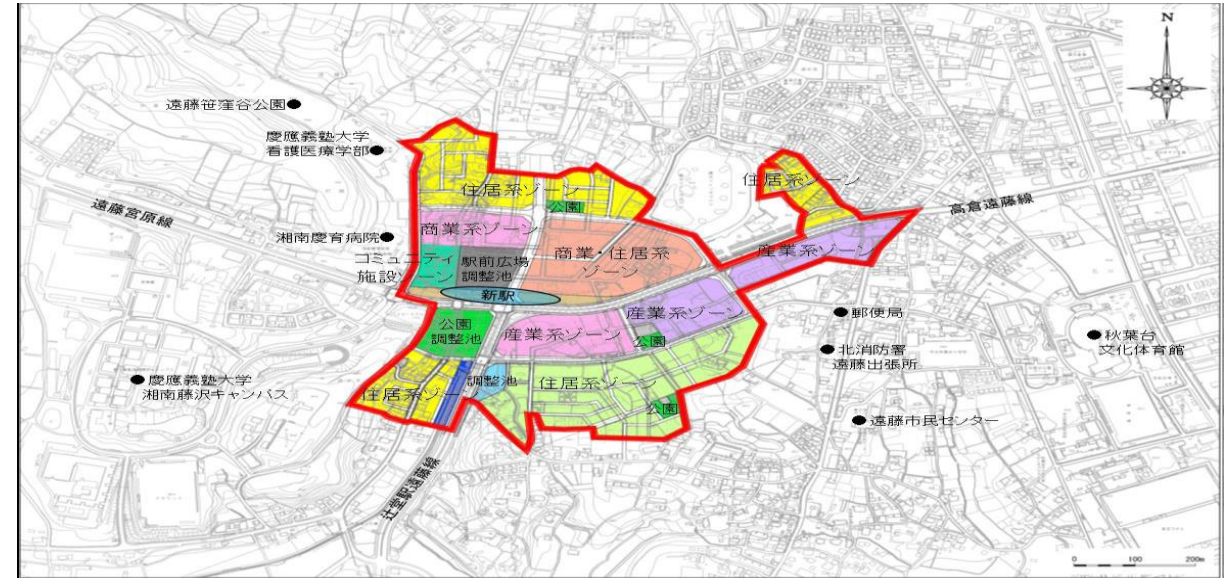


(参考) 第1期整備自由通路拡幅整備イメージ (基本設計時)



④都市の機能と活力を高める

- **健康と文化の森地区**
市街化区域編入や土地区画整理組合設立の認可に向けた取り組みを推進します
- **新産業の森地区**
地域経済の動向を踏まえたまちづくりの具体化に向けた検討を実施します



⑤未来を見据えてみんなではじめる

現在のデジタル市役所の取組状況

コンタクト
センター



R5. 10月～

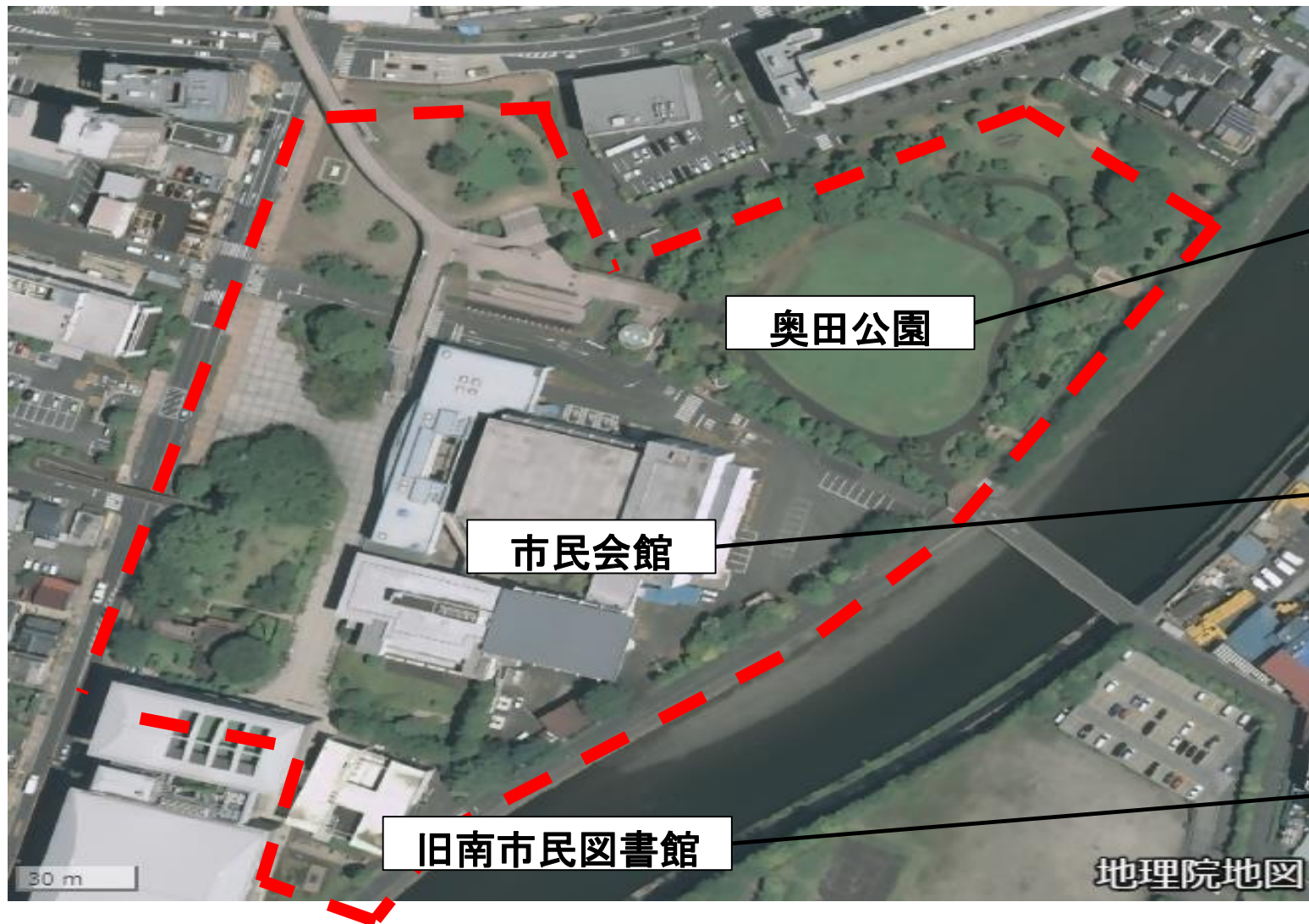
電話での問い合わせ、メール、チャット
など、FAQを一元化し、問い合わせに
対応



スマートシティの取り組みを推進！



⑤未来を見据えてみんなではじめる 生活・文化拠点再整備事業





ご清聴ありがとうございました

